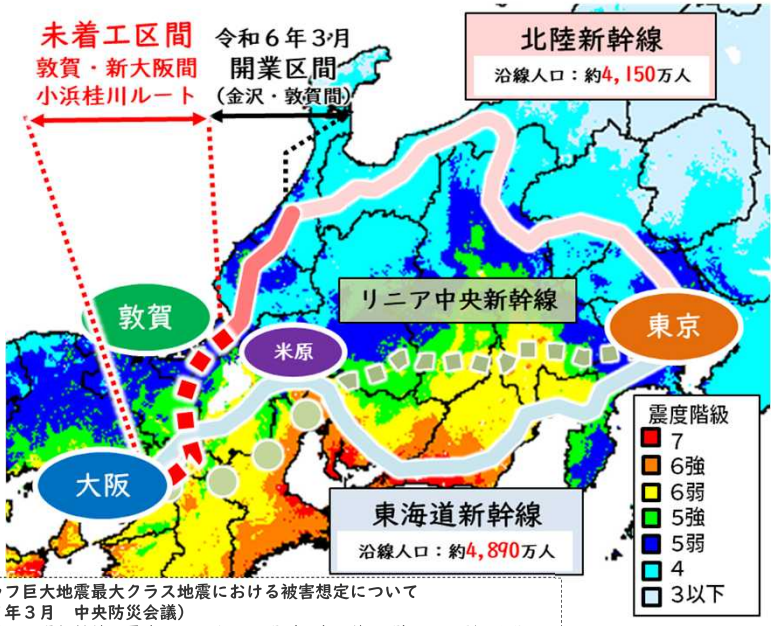
北陸新幹線 北陸・信越↔関西 早期全線開業
北陸新幹線建設促進同盟会

北陸新幹線の早期全線開業

資料1、福井県・京都府・大阪府

○ 北陸新幹線は、関西の将来に必要不可欠な国家プロジェクト

≪南海トラフ地震の震度分布と新幹線ルート≫



南海トラフ巨大地震最大クラス地震における被害想定について
（令和７年３月　中央防災会議）
・東海道・山陽新幹線の震度６弱以上の区間（三島・徳山間）は、運転再開に１週間から１か月の期間が必要
（震度５強以下の区間は、当日のうちに運転再開）

図出典：南海トラフ巨大地震モデル・被害想定手法検討会　地震モデル報告書［陸側ケース］
令和7年3月31日（南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ）

≪政府・与党における議論等の状況≫

令和8年3月6日～7月7日　与党整備委員会（関係者ヒアリング）

・JR西日本、滋賀県、福井県、JR東海、北陸経済連合会、関西経済連合会、京都府・京都市、大阪府・大阪市に対し、ルートに関するヒアリングを実施

令和8年7月15日　与党整備委員会（とりまとめ内容）

・今後着工5条件の充足を図るルート案として、小浜・京都ルートの桂川案とする
・京都をはじめ沿線自治体の着工への同意を得ることを目指す
・地元自治体による負担の極小化は、あらゆる手段を講じることにより実現する

令和8年8月28日　与党整備委員会 高市総理へ申し入れ

・高市総理は、ありとあらゆる方法を使って地方負担を小さくしていくなど、一日も早い全線開業を目指す という意欲を示す

令和8年9月10日　与党プロジェクトチーム

・地方負担の軽減について年末までに議論を加速するよう、国土交通省に指示

国交省は、新規着工予算について「地方の財政負担への配慮も含めた事項要求」

提言要旨

あらゆる手段を尽くして敦賀・新大阪間を一気に整備し、一日も早い全線開業を実現

○敦賀・新大阪間の認可・着工及び一日も早い全線開業を実現するため、必要な予算を確保

○国等において体制強化を図り、沿線自治体等に丁寧な説明を行いながら、地元の懸念等を払拭するため最善を尽くすとともに、全線開業に向けた具体的なスケジュールを早急に明示

○整備財源に関する議論を深めるとともに、敦賀・新大阪間に並行在来線は存在しないことを確認するなど、着工5条件の解決に向けた議論の加速

○国と地元の分担スキームの見直しや国家プロジェクトにふさわしい十分な財政措置を講じ、沿線自治体の負担を極小化